研究課題名

医療および食の安全・安心を目指した新たな分析技術の開発

研究計画の背景

食品や医薬品を品質評価するために **含まれている成分の量**を測る必要がある



各物質の定量に対して、標準となる物質(標準品)が必要

- 課題
- 価格が高い、入手不可能な標準品がある
- ・物質の構造が複雑であるため、有機合成することが困難
- 標準品として純粋な物質を大量に取り出すことは不可能

標準品が得られない化合物を正確に定量することはできない

⇒医療および食の安心・安全の信頼を得られない

解決策

従来の概念にとらわれない新しい定量法の開発



- 全ての物質をどこでも、誰でも正確に定量できる
- •食品や医薬品の安全性及び品質向上への貢献
- 日本独自の食品を海外への流通の拡大が可能